

山口市子ども子育て支援事業計画
第4章 基本施策と取組

主な取組（新規・拡充）の状況

令和元年8月

第4章 主な取組（新規・拡充）の状況

施策方針1 すべての子どもの幸せを守り、成長を支援するまちづくり

1 子どもの権利を守る取組の推進

(3) 社会的養護施策との連携

No	具体的取組	内容		
1	継続 拡充 社会的養護施策との連携	児童養護施設等との連携、児童家庭支援センターの活用、里親支援につながる啓発等、関係機関との連携を図り、児童虐待防止対策などの子ども・子育て支援の充実につなげていきます。		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	子育て保健課
P39		児童養護施設等（6施設）において子育て支援短期利用事業を実施しました。 ■ショートステイ利用 延べ114日、日中預かり利用 延べ95日、トワイライト利用 延べ42件 こども家庭支援センターを運営する社会福祉法人に委託し、夜間・休日における電話相談に応じました。 10月の里親制度推進月間に児童相談所が開催した里親募集説明会の案内等について、市報やチラシ等で周知しました。 次年度以降も引き続き、施設等との連携をはじめ平成29年度と同様に関係機関との連携を図り、児童虐待防止対策に取り組みます。		
		平成30年度取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		児童養護施設等（6施設）において子育て支援短期利用事業を実施しました。 ■ショートステイ利用 延べ108日、日中預かり利用 延べ135日、トワイライト利用 延べ66件 こども家庭支援センターを運営する社会福祉法人に委託し、夜間・休日における電話相談に応じました。 10月の里親制度推進月間に児童相談所が開催した里親募集説明会の案内等について、市報やチラシ等で周知しました。 次年度以降も引き続き、施設等との連携をはじめ平成30年度と同様に関係機関との連携を図り、児童虐待防止対策に取り組みます。		

4 ひとり親家庭の自立支援の充実

(1) 就業・経済的支援

No	具体的取組	内容		
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">継続</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡充</div> 子育て・生活支援の推進	母子・父子家庭日常生活支援事業や、保育園及び放課後児童クラブの利用に際しての配慮など、各種施策を推進します。 また、ひとり親家庭学習支援事業等により、ひとり親家庭の児童等の学習の支援や、進学についての相談等の支援に取り組みます。		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	子育て保健課
P44		ひとり親家庭や寡婦家庭に対して、一時的に子育てや生活支援が必要な場合に、家庭生活支援員を派遣しました。 ■利用件数 延べ28件 主にひとり親家庭の小中学生を対象に、平成29年度から「子どもの生活・学習支援事業」として、食事の提供や生活習慣、学習支援を行う子どもの居場所づくりに取り組みました。 ■参加児童 延べ598人 ■参加ボランティア 延べ651人 保育園及び放課後児童クラブの利用に際しての配慮を実施しました。 次年度以降も引き続き、ひとり親家庭の生活支援や子どもの居場所づくり事業等に取り組みます。		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		ひとり親家庭や寡婦家庭に対して、一時的に子育てや生活支援が必要な場合に、家庭生活支援員を派遣しました。 ■利用件数 延べ46件 主にひとり親家庭の小中学生を対象に、平成29年度から「子どもの生活・学習支援事業」として、食事の提供や生活習慣、学習支援を行う子どもの居場所づくりに取り組みました。 ■参加児童 延べ897人 ■参加ボランティア 延べ676人 保育園及び放課後児童クラブの利用に際しての配慮を実施しました。 次年度以降も引き続き、ひとり親家庭の生活支援や子どもの居場所づくり事業等に取り組みます。		

施策方針2 乳幼児期の成長を支援する環境づくり

1 教育・保育の安定的な提供

(1) 教育・保育事業の充実

No	具体的取組	内容		
1	<p>継続 拡充</p> <p>保育園の待機児童の解消</p> <p>【幼児期の学校教育・保育】</p>	<p>保育ニーズを踏まえ、保育園の増設等による定員の拡大を図るとともに、認定こども園及び地域型保育事業の導入や幼稚園預かり保育を進めることにより提供体制の確保を図り、待機児童の解消を行います。</p>		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P46		<p>平成30年4月1日の定員拡大に向けて、私立保育園や認定こども園、地域型保育事業の開設の準備を進め、232人の定員の拡大を行いました(※)。</p> <p>しかしながら、昨年に比べて待機児童数は減少したものの、平成30年4月1日時点で36人の待機児童が発生しております。平成30年度は、平成31年度のさらなる定員拡大に向けて、事業者と連携、調整を図りながら取組みを進めています。</p> <p>【平成30年度の定員拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■私立保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・夢の星保育園大内園(大内:定員50人→60人) ・夢の星保育園穂積園(大歳:定員60人→70人) ・はあと保育園(小郡:定員60人→120人) ■認定こども園(定員は保育機能部分のもの) <ul style="list-style-type: none"> ・旭幼稚園(大歳:定員130人) ■地域型保育事業 <ul style="list-style-type: none"> ・うる保育園(平川:定員17人) ・山口ヤクルト平川保育園(平川:地域枠定員5人) <p>※平成30年7月1日開園</p> <p>【待機児童数】</p> <p>平成30年4月1日時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本待機: 36人 ・準待機: 100人 		
		平成30年度取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		<p>平成31年4月1日の定員拡大に向けて、平成30年4月以降、私立保育園や地域型保育事業の開設の準備を進め、284人の定員の拡大を行いました。</p> <p>しかしながら、前年度に比べ待機児童数は減少したものの、平成31年4月1日時点で15人の待機児童が発生しています。</p> <p>今年度(令和元年度)は、令和2年度のさらなる定員拡大に向けて、事業者と連携・調整を図りながら取組みを進めます。</p> <p>【平成31年4月1日の定員拡大】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■私立保育園 <ul style="list-style-type: none"> ・はあと保育園中央(湯田:定員120人) ・めばえ保育園(大歳:定員120人→150人) ・愛児園みやのの森保育園(宮野:定員60人→80人) ・きらきら星保育園(大内:定員60人→90人) ・たんぼぼ保育園(小郡:定員110人→118人) 		

		<p>■地域型保育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央ココモ保育園（平川：定員19人） ・U NURSERY 新山口2号館（小郡：定員19人） ・もりもり保育園（嘉川：定員19人） <p>《再掲》・山口ヤクルト平川保育園（平川：定員19人（内、地域枠5人））</p> <p>【待機児童数】 平成31年4月1日時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本待機：15人 ・準待機：65人
--	--	---

No	具体的取組	内容		
2	<p>継続 拡充</p> <p>幼稚園の充実</p> <p>【幼児期の学校教育・保育】</p> <p>【地域子ども・子育て支援事業】</p>	<p>公立幼稚園において、地域の実情に合わせて3歳児からの就学前教育を行います。また、私立幼稚園の預かり保育を推進し、私学振興の支援を行います。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P46		<p>平成28年度に引き続き、仁保、小鱈、名田島、二島、宮野、鑄銭司の各市立幼稚園において3歳児保育を実施しました。</p> <p>全ての私立幼稚園において預かり保育を実施されました。</p> <p>今後も、幼稚園教育要領に沿った質の高い幼児教育の提供に努めていきます。</p>		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		<p>平成29年度に引き続き、仁保、小鱈、名田島、二島、宮野、鑄銭司の各市立幼稚園において3歳児保育を実施しました。</p> <p>全ての私立幼稚園において預かり保育を実施されました。</p> <p>今後も、幼稚園教育要領に沿った質の高い幼児教育の提供に努めていきます。</p>		

No	具体的取組	内容		
3	継続 拡充 保育園の充実 【幼児期の学校教育・保育】 【地域子ども・子育て支援事業】	保育園の新設・増設等による定員の拡大を行います。また、延長保育や休日保育等の特別保育を実施していきます。		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P46		平成29年度は、定員拡大に向けた新設・増設等の整備はありませんでしたが、平成30年度は、中央部地域において保育園の新設や既存保育園の増設を行い、更なる定員拡大を図る予定です。 また公立13園、私立21園で延長保育を、私立1園で休日保育を実施しました。 次年度以降も引き続き、延長保育等の特別保育に取り組みます。 【延長保育事業の利用人数（延べ）】 ・公立保育園：20,033人 ・私立保育園：40,688人 【休日保育事業の利用人数（延べ）】 ・私立保育園：365人		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		平成30年度は、定員拡大に向けた新設・増設等の整備を行いました。令和元年度も引き続き整備を行い、更なる定員拡大を図る予定です。 また、公立13園、私立20園で延長保育を、私立1園で休日保育を実施しました。 次年度以降も引き続き、延長保育等の特別保育に取り組みます。 【延長保育事業の利用人数（延べ）】 ・公立保育園：20,635人 ・私立保育園：39,091人 【休日保育事業の利用人数（延べ）】 ・私立保育園：448人		

No	具体的取組	内容		
4	新規 認定こども園への移行 【幼児期の学校教育・保育】	幼稚園と保育園の機能や特長をあわせ持つ認定こども園への移行について支援していきます。		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P46		平成30年4月1日に旭幼稚園が認定こども園へ移行しました。 【認定こども園の移行・増設】 ・旭幼稚園（定員415人（1号：285人、2、3号：130人））		
		平成30年度取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		平成30年度、認定こども園へ移行した施設はありませんでした。 令和元年度は、1施設が移行を予定しています。		

No	具体的取組	内容		
5	<p>新規 地域型保育事業の導入 【幼児期の学校教育・保育】</p>	<p>少人数の単位で、0歳から2歳児を対象とする地域型保育事業（家庭的保育・小規模保育・居宅訪問型保育・事業所内保育）の導入を図ります。 導入にあたっては、保育内容の支援や卒園後の受け皿等の連携について、保育園を中心に支援していきます。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P46		<p>中央部地域において2事業所が、認可外保育施設から移行する形での地域型保育事業の開設の準備を進めました。 【地域型保育事業の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うる保育園（再掲） ・山口ヤクルト平川保育園（再掲）※平成30年7月1日開園 <p>平成31年4月の開設に向けて、1事業所が準備を進めています。</p>		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		<p>中央部地域において1事業所が新たに開設し、小郡、川西地域において各1事業所、計2事業所が、認可外保育施設から移行する形で地域型保育事業の開設の準備を進めました。 【地域型保育事業の開設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央ココモ保育園（再掲） ・U NURSERY 新山口2号館（再掲） ・もりもり保育園（再掲） ・山口ヤクルト平川保育園（平成30年7月1日開園、再掲） 		

2 教育・保育の質の向上

(1) 教育・保育事業の質の向上

No	具体的取組	内容		
1	新規 教育・保育事業の理念の共有	多様な教育・保育環境を整備していくことに伴い、本市における乳幼児期の保育者が、子どもの育ちに関して共通した目標や視点をもって保育に取り組むための理念を策定し、共有できる仕組みづくりを行います。		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P47		<p>平成28年度に引き続き、「山口市すくすく保育プラン」のもと、専門職としての資質向上を図る取り組みとして、保育園では「やまぐち子育て福祉総合センター」において、保育士を対象とした専門研修を開催し、また、幼稚園では、幼児教育にかかる課題を研究する会を開催し、保育・教育の質の向上を図りました。</p> <p>また、平成29年度も「幼稚園・保育園意見交換会」に市内の幼稚園教諭・保育士の養成校の担当教官にも出席をいただき、養成校と幼稚園、保育園の現場が連携して人材育成に取り組んでいくことについて意見交換を行いました。</p> <p>さらには、山口市就学相談会を開催し、小学校就学時の心身の状況や行動について不安のある保護者を対象に、就学先の紹介、子どもとの関わり方などについて相談を実施しました。</p> <p>今後、本プランを事業者としての共通した理念として、各施設の教育方針、保育方針に基づく特色ある保育を実践していくとともに、養成校と教育・保育の現場が連携して人材育成に取り組めます。</p>		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		<p>平成29年度に引き続き、「山口市すくすく保育プラン」のもと、専門職としての資質向上を図る取り組みとして、保育園では「やまぐち子育て福祉総合センター」において、保育士を対象とした専門研修を開催し、また、幼稚園では、幼児教育にかかる課題を研究する会を開催し、保育・教育の質の向上を図りました。</p> <p>さらには、山口市就学相談会を開催し、小学校就学時の心身の状況や行動について不安のある保護者を対象に、就学先の紹介、子どもとの関わり方などについて相談を実施しました。</p> <p>今後、本プランを事業者としての共通した理念として、各施設の教育方針、保育方針に基づく特色ある保育を実践していくとともに、養成校と教育・保育の現場が連携して人材育成に取り組めます。</p>		

No	具体的取組	内容		
2	新規 やまぐち子育て福祉総合センターでの専門研修の実施	障がい児保育、地域人材との連携、児童虐待防止、教育・保健・医療との連携、児童健全育成などに関する調査・研究を行い、研修メニューを構築することで、保育の質の向上を図ります。また、子育て支援機能の向上に関する調査・研究も行います。		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	子育て保健課
P47		保育者、子育て支援者向けの専門研修を12回開催し、延べ1,032人の参加がありました。 引き続き、保育の質の向上に資するよう、研修メニューの充実を図ります。		
		平成30年度取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		保育者、子育て支援者向けの専門研修を12回開催し、延べ992人の参加がありました。 引き続き、保育の質の向上に資するよう、研修メニューの充実を図ります。		

No	具体的取組	内容		
4	新規 保育士等確保対策の推進	県の保育士人材バンクや保育士等養成施設との連携を図るとともに、保育士資格応援講座の実施などにより、教育・保育事業に係る人材の確保を図っていきます。 また、インターンシップや教育・保育実習を通じて、仕事のやりがいや魅力を感じる職業観の醸成につなげていきます。		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P47		平成28年度に引き続き、国、県と連携した潜在保育士の復職等の支援や、セカンドキャリアとして保育士資格の取得を目指す方向けの「保育士資格応援講座」など、保育士確保のための取り組みをやまぐち子育て福祉総合センターで実施しました。 引き続き、国、県、関係機関と連携して保育士確保を図ります。 【保育士資格応援講座】 ・計8回、参加者53人 【保育再チャレンジ講座】（平成29年度新規事業） ・計3回、参加者20人		
		平成30年度取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
		平成29年度に引き続き、国、県と連携した潜在保育士の復職等の支援や、セカンドキャリアとして保育士資格の取得を目指す方向けの「保育士資格応援講座」など、保育士確保のための取り組みをやまぐち子育て福祉総合センターで実施しました。 引き続き、国、県、関係機関とも連携して保育士確保を図ります。 【保育士資格応援講座】 ・計7回実施、参加者43人 【保育再チャレンジ講座】 ・計2回、参加者6人		

施策方針3 子育てを支える地域の環境づくり

1 相談・情報提供体制の充実

(1) 相談体制の充実

No	具体的取組	内容		
3	<p>新規 利用者支援事業「母子保健型」の実施 【地域子ども・子育て支援事業】</p>	<p>山口市保健センター内にやまぐち母子健康サポートセンターを設置し、妊産婦さんとそのご家族が抱えるさまざまな不安などについて、助産師・保健師等の専門の相談員が相談を受ける体制を整備します。</p> <p>また、必要に応じて、やまぐち子育て福祉総合センターと連携し、関係機関の紹介や母子保健及び子育て支援サービスに関する情報提供の充実に努めます。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	子育て保健課
P49		<p>山口市保健センター内に設置した、やまぐち母子健康サポートセンターに、専任（嘱託）助産師及び専任（嘱託）保健師各1名と兼任の保健師2名を配置し、妊娠から出産、子育てに関する様々な相談に対応し、多くの市民に利用していただきました。</p> <p>【母子健康サポートセンターにおける電話及び来所相談件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦：111件、産婦：2,248件、乳児：1,437件、 幼児：526件、学童以上：105件、関係機関：255件 <u>合計 4,682件</u> ・メールによる相談等 <u>合計 47件</u> <p>今後も、本センターを市民の皆様「妊娠・出産・子育て」を安心して迎えるための気軽な相談窓口として利用してもらえるように、また地域担当保健師、やまぐち子育て福祉総合センターと連携をし、相談及び情報提供体制の充実、強化に努めます。</p>	担当課	子育て保健課
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		<p>山口市保健センター内に設置した、やまぐち母子健康サポートセンターに、専任（嘱託）助産師及び専任（嘱託）保健師各1名と兼任の保健師2名を配置し、妊娠から出産、子育てに関する様々な相談に対応し、多くの市民に利用していただきました。</p> <p>【母子健康サポートセンターにおける電話及び来所等相談延べ件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦：85件、産婦：1,810件、乳児：1,657件、 幼児：976件、保護者：948件、学童以上：20件、 関係機関：125件 <u>合計 5,621件</u> ・メールによる相談等 <u>合計 42件</u> <p>今後も、本センターを市民の皆様「妊娠・出産・子育て」を安心して迎えるための気軽な相談窓口として利用してもらえるように、また地域担当保健師、やまぐち子育て福祉総合センターと連携をし、相談及び情報提供体制の充実、強化に努めます。</p>	担当課	子育て保健課

(2) 子育て情報の収集・提供体制の充実

No	具体的取組	内容		
1	<p>新規 継続</p> <p>子育てに関する情報の一元的な提供 【地域子ども・子育て支援事業】</p>	<p>やまぐち子育て福祉総合センターにおいて、教育・保育、子育て支援の情報提供や利用施設・事業の選択に係る支援（相談）を行う「子育て案内サービス」を提供します。また、専門的事項に関するものについては、関係機関につなぐことで、切れ目のないサービスを提供します。（利用者支援事業の実施）</p> <p>また、子育てに関する情報を掲載した「子育て支援情報ハンドブック」の発行、市ウェブサイト「山口市子育て応援サイト」の運営を通じて、情報提供の充実に努めます。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	こども未来課 子育て保健課
P49		<p>平成28年度に引き続き、子育て中の保護者向けに、幼稚園、保育園、認定こども園それぞれの園の先生方と対話する「はじめての園生活応援講座」を5回開催し、延べ47人の参加がありました。また、子育てに関する悩みや、幼稚園、保育園等への就園に関する問い合わせ等に対応しました。</p> <p>引き続き、相談等に対応できる体制を整え、子育てに関する情報の提供に努めます。</p> <p>【子育て福祉総合センターにおける相談件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てや家庭に関する悩み：111件 幼稚園や保育園への就園に関する相談：171件 制度やサービスに関する問い合わせ：91件 子育て支援やそれに類する活動に関する問い合わせ：21件 その他：23件 <p>「平成29年度版子育て支援情報ハンドブック」の発行、市報、市ウェブサイト及び地域情報紙等への掲載、並びに「山口市子育て応援サイト」の運営を通じて情報の提供に努めました。</p> <p>【山口市子育て応援サイトのアクセス数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11,686件（平成29年4月3日開設） 		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	こども未来課 子育て保健課
	<p>平成29年度に引き続き、子育て中の保護者向けに、幼稚園、保育園、認定こども園それぞれの園の先生方と対話する「はじめての園生活応援講座」を6回開催し、延べ48人の参加がありました。また、子育てに関する悩みや、幼稚園、保育園等への就園に関する問い合わせ等に対応しました。</p> <p>引き続き、相談等に対応できる体制を整え、子育てに関する情報の提供に努めます。</p> <p>【子育て福祉総合センターにおける相談件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てや家庭に関する悩み：194件 幼稚園や保育園への就園に関する相談：162件 制度やサービスに関する問い合わせ：95件 子育て支援やそれに類する活動に関する問い合わせ：22件 その他：34件 <p>「平成30年度版子育て支援情報ハンドブック」の発行、市報、市ウェブサイト及び地域情報紙等への掲載、並びに「山口市子育て応援サイト」の運営を通じて情報の提供に努めました。</p> <p>【山口市子育て応援サイトのアクセス数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 9,761件 			

No	具体的取組	内容		
1	新規 子育てに関する情報の一元的な提供 【地域子ども・子育て支援事業】	山口市保健センター内にやまぐち母子健康サポートセンターを設置し、妊産婦さんとそのご家族が抱えるさまざまな不安などについて、助産師・保健師等の専門の相談員が相談を受ける体制を整備します。(利用者支援事業「母子保健型」の実施) また、必要に応じて、やまぐち子育て福祉総合センターと連携し、関係機関の紹介や母子保健及び子育て支援サービスに関する情報提供の充実に努めます。		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	子育て保健課
P49		山口市保健センター内に設置した、やまぐち母子健康サポートセンターで、専任(嘱託)助産師及び専任(嘱託)保健師各1名と兼任の保健師2名を配置し、妊娠から出産、子育てに関する様々な相談に対応し、多くの市民に利用していただきました。		
		【母子健康サポートセンターにおける電話及び来所相談件数】 ・妊婦：111件、産婦：2,248件、乳児：1,437件、 幼児：526件、学童以上：105件、関係機関：255件 <u>合計 4,682件</u> ・メールによる相談等 <u>合計 47件</u> (再掲)		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		山口市保健センター内に設置した、やまぐち母子健康サポートセンターに、専任(嘱託)助産師及び専任(嘱託)保健師各1名と兼任の保健師2名を配置し、妊娠から出産、子育てに関する様々な相談に対応し、多くの市民に利用していただきました。		
		【母子健康サポートセンターにおける電話及び来所等相談延べ件数】 ・妊婦：85件、産婦：1,810件、乳児：1,657件、 幼児：976件、保護者：948件、学童以上：20件、 関係機関：125件 <u>合計 5,621件</u> ・メールによる相談等 <u>合計 42件</u>		
		今後も、本センターを市民の皆様「妊娠・出産・子育て」を安心して迎えるための気軽な相談窓口として利用してもらえるように、また地域担当保健師、やまぐち子育て福祉総合センターと連携をし、相談及び情報提供体制の充実、強化に努めます。		

2 様々な子育て支援の充実

(2) 経済的支援の充実

No	具体的取組	内容											
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">継続</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 5px;">拡充</div> 医療費の助成	小学校就学前までの乳幼児、ひとり親家庭の親と子、重度障がい児に対し、医療費の自己負担分を引き続き助成します。 また、平成26年度に小学1年生から小学3年生までを対象に、新たに創設した「こども医療費助成制度」については、平成27年度以降、段階的に対象学年を拡大していきます。											
計画書		平成29年度の実績	担当課	保険年金課									
P51		乳幼児、こども、ひとり親家庭、重度心身障害者の医療費助成制度について、引き続き実施しました。 こども医療費助成制度については、所得に関係なく自己負担分の無料化を、小学6年生までの段階的な拡大に取り組むこととし、平成30年10月からは、小学3年生までを対象に実施します。 平成29年度実績 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">乳幼児</td> <td style="text-align: center;">こども</td> </tr> <tr> <td>【受給者数(年度平均)】</td> <td style="text-align: center;">9,995人</td> <td style="text-align: center;">682人</td> </tr> <tr> <td>【給付件数】</td> <td style="text-align: center;">220,189件</td> <td style="text-align: center;">8,611件</td> </tr> </table>		乳幼児	こども	【受給者数(年度平均)】	9,995人	682人	【給付件数】	220,189件	8,611件		
			乳幼児	こども									
【受給者数(年度平均)】	9,995人	682人											
【給付件数】	220,189件	8,611件											
		平成30年度の実績と今後の予定	担当課	保険年金課									
		乳幼児、こども、ひとり親家庭、重度心身障害者の医療費助成制度について、引き続き実施しました。 こども医療費助成制度については、所得に関係なく自己負担分の無料化を、小学6年生までの段階的な拡大に取り組むこととし、平成30年10月から小学3年生までを対象に実施しました。令和元年10月からは、小学6年生までを対象に実施します。 平成30年度実績 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">乳幼児</td> <td style="text-align: center;">こども</td> </tr> <tr> <td>【受給者数(年度平均)】</td> <td style="text-align: center;">9,704人</td> <td style="text-align: center;">2,949人</td> </tr> <tr> <td>【給付件数】</td> <td style="text-align: center;">214,375件</td> <td style="text-align: center;">32,931件</td> </tr> </table>		乳幼児	こども	【受給者数(年度平均)】	9,704人	2,949人	【給付件数】	214,375件	32,931件		
	乳幼児	こども											
【受給者数(年度平均)】	9,704人	2,949人											
【給付件数】	214,375件	32,931件											

3 子育て支援のネットワークづくり

(1) 子育て支援のネットワークづくり

No	具体的取組	内容		
1	新規 子どもの育ちを支える顔の見える連携づくり	やまぐち子育て福祉総合センターは、「人材育成」と「子ども・子育て支援の向上」を柱に事業展開を行います。 保育園・幼稚園・地域子育て支援拠点・放課後児童クラブ・児童館・育児サークル等において、子どもの育ちを支える顔の見える連携、情報交換、交流促進が行える仕組みづくりを進めていきます。		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	子育て保健課
P52		平成28年度に引き続き、子どもの育ちを支えるネットワークの構築を目指し、関係機関との情報交換会や市保健センターの母子相談との連携を図ったほか、保健師の家庭訪問に同行し、家庭での子育てを支援しました。 今後も、「やまぐち母子健康サポートセンター」との連携も含め、引き続きこうした活動を行い、子どもの育ちを支える顔の見える連携体制の構築を図ります。		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	子育て保健課
		平成29年度に引き続き、子どもの育ちを支えるネットワークの構築を目指し、関係機関との情報交換会や市保健センターの育児相談との連携を図ったほか、保健師の家庭訪問に同行し、家庭での子育てを支援しました。 今後も、「やまぐち母子健康サポートセンター」との連携も含め、引き続きこうした活動を行い、子どもの育ちを支える顔の見える連携体制の構築を図ります。		

施策方針4 仕事と子育てが両立できる環境づくり

2 ワーク・ライフ・バランスの推進

(1) 多様な保育事業の充実

No	具体的取組	内容		
1	<p>継続 拡充</p> <p>多様な保育事業の充実</p> <p>【地域子ども・子育て支援事業】</p>	<p>様々なライフスタイルに対応できるよう、認可保育園で行われている通常の保育事業のほか、延長保育や休日保育、一時保育（一時預かり）、病児保育等を充実し、就業形態とその子どもの状況に応じた多様な保育事業を進めます。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	保育幼稚園課
P57		<p>公立13園、私立21園で延長保育を、私立1園で休日保育を、公立園1園、私立7園で一時保育を実施しました。また、病児保育は南部地域（小郡）1箇所、北部地域（吉敷、大内）2箇所の合計3箇所で実施しました。</p> <p>引き続き保育ニーズを踏まえながら、多様な保育事業の充実を図ります。</p> <p>【延長保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園、私立保育園（5ページ参照） <p>【休日保育の利用人数】</p> <p>（5ページ参照）</p> <p>【一時保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園： 257人 ・私立保育園：8,721人 <p>【病児保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域（2箇所）：3,735人 ・南部地域（1箇所）：1,247人 		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	保育幼稚園課
P57		<p>公立13園、私立20園で延長保育を、私立1園で休日保育を、公立園1園、私立8園で一時保育を実施しました。また、病児保育は南部地域（小郡）1箇所、北部地域（吉敷、大内）2箇所の合計3箇所で実施しました。</p> <p>引き続き保育ニーズを踏まえながら、多様な保育事業の充実を図ります。</p> <p>【延長保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園、私立保育園（5ページ参照） <p>【休日保育の利用人数】</p> <p>（5ページ参照）</p> <p>【一時保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立保育園：165人 ・私立保育園：8,847人 <p>【病児保育の利用人数（延べ）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域（2箇所）：3,247人 ・南部地域（1箇所）：1,439人 		

No	具体的取組	内容		
2	<p>【継続】 【拡充】</p> <p>放課後児童クラブの運営・整備</p> <p>【地域子ども・子育て支援事業】</p>	<p>放課後子ども総合プランに基づく放課後児童クラブの運営により、児童の健全育成を図るとともに、開所時間の延長や支援員の適正な配置など、運営体制を充実していきます。</p> <p>また、共働き家庭の増加等による放課後児童クラブのニーズを踏まえ、新設や老朽・狭小施設の建替等による定員の拡大を進めていきます。</p> <p>さらに、放課後子ども教室のプログラム企画協議への参加などにおいて連携していきます。</p>		
計画書		平成29年度取組状況等	担当課	こども未来課
P57		<p>平成28年度に引き続き、児童が心身ともに健やかに育成されるよう取り組みました。また、新設・移転整備、増築などにより定員拡大を進め、白石地域、大歳地域においては、新たな学級整備までの間の臨時学級を開設しました。</p> <p>今後も計画に基づき、まずは既存の幼稚園等公共施設の有効活用を図るとともに、既存施設の規模拡大や大規模校・中規模校における第3学級の整備による定員拡大を図り、早期に待機児童が解消できるよう取り組んでまいります。</p> <p>【学級の開級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなみ第3学級（大内南小学校区） ・はあと児童クラブ（小郡南小学校区） ・なかいち学級（白石小学校区）【臨時学級】 ・さわやか第2学級（大歳小学校区）【臨時学級】 <p>【学級の新設・増築整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うえき第3学級（大内小学校区） 60人増【新設】 ・はちのご学級（小郡小学校区） 15人増【移転整備】 ・おひさまクラブ2（阿知須小学校区）30人増【移転整備】 ・徳佐児童クラブ（徳佐小学校区） 5人増【増築】 <p>【待機児童数】</p> <p>平成30年4月1日時点 174人 （平成29年4月1日時点 250人）</p>		
		<p>平成30年度取組状況と今後の予定</p> <p>平成29年度に引き続き、児童が心身ともに健やかに育成されるよう取り組みました。また、新設・新築移転などにより定員拡大を進め、白石地域、大歳地域においては、新たな学級整備までの間の臨時学級を継続しました。</p> <p>今後も計画に基づき、まずは既存の小学校等公共施設の有効活用を図るとともに、既存施設の規模拡大や大規模校・中規模校における第3学級の整備による定員拡大を図り、早期に待機児童が解消できるよう取り組んでまいります。</p> <p>また、小郡地域において、夏休み期間中の臨時学級の開設を予定しています。</p> <p>【学級の開級】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あっと児童クラブ（大殿小学校区） ・なかよし第3学級（白石小学校区） <p>【学級の新築移転】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なかよし学級・なかよし第2学級（白石小学校区）33人増【移転整備】 ・ひめやま第3学級（平川小学校区） 30人増【移転整備】 ・さわやか第2学級（大歳小学校区） 30人増【移転整備】 <p>【待機児童数】</p> <p>平成31年4月1日時点 138人</p>		

施策方針5 次代を担う人づくり

1 学校教育の充実

(2) いじめ・少年非行等の問題行動や不登校に対する相談体制の充実

No	具体的取組	内容		
1	<p>継続 拡充</p> <p>いじめ防止基本方針の推進</p>	<p>児童・生徒の教育を受ける権利の侵害、心身の健全な成長や人格の形成への重大な影響、生命や身体に重大な危険を生じさせるおそれがあるいじめについて、いじめ防止対策推進法の規定に基づき、いじめの防止・早期発見・対処について、総合的かつ効果的に推進していきます。</p>		
計画書		平成29年度の取組状況等	担当課	学校教育課
P60		<p>「山口市いじめ防止基本方針」は3年間のさまざまな課題や国の基本方針の改定（平成29年3月14日）及び県の基本方針の改定（平成29年12月）を受け、また「山口市いじめ問題調査委員会」「山口いじめ対応検証委員会」「山口市いじめ問題対策連絡協議会」での意見を踏まえ、平成30年3月に改定しました。</p> <p>今後は、この基本方針を本市のホームページで公表し、市民の皆様へ御理解をいただくとともに、各小・中学校、関係機関等に冊子を配布し、各学校及び教職員一人ひとりの心にしっかり届くよう、機会を設けて研修を行い、取組を拡充していく予定としています。</p>		
		平成30年度の取組状況と今後の予定	担当課	学校教育課
		<p>平成30年3月に改定した「山口市いじめ防止基本方針」を本市のホームページで公表するとともに、各小・中学校、関係機関等に冊子を配布することで、各学校及び教職員一人ひとりに取組の周知徹底を行いました。</p> <p>「いじめ・不登校」が減少する取組を徹底していくため、平成31年4月から、学校教育課内に「児童生徒安心支援室」を設置し、「いじめ初動対応サポーター」「いじめ不登校専門相談員」「生徒指導推進専門員」「教育相談員」「学校安全サポーター」と連携し、事案が発生した際の学校における初動対応が適切かつ迅速に行えるよう機能強化を図ります。</p>		